

# 亀山市レク協会だより

題字・桜井義之会長

## 《第 2 号》

編集・発行

亀山市レクリエーション協会

事務局：亀山市本丸町 577

亀山市教育委員会社会教育課内

TEL 0595-84-5080



### 「アイスブレイキング」とは？

「アイスブレイキング」とは、氷が解けるように自分の心を解き放つという意味です。私たちが、様々な人と出会い、すぐに交流しスムーズな活動に入るためにはキッカケが必要です。そのキッカケを演出し、人と人との和やかにしていくのがアイスブレイキングです。

「アイスブレイキング」は、別項のとおりレクリエーション活動の基本になるもので、同セミナーはレクリエーションインストラクター資格取得時の現場実習の対象になっています。

「アイスブレイキング」は、別項のとおりレクリエーション活動の基本になるもので、同セミナーはレクリエーションインストラクター資格取得時の現場実習の対象になっています。

## 「アイスブレイキング」

70人が参加  
奥深さ体験

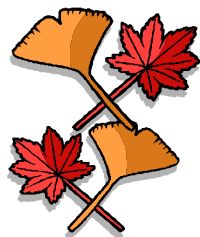
## 「ゲームの巨匠」宇田川光雄さん迎え

「ゲームの巨匠」と呼ばれる宇田川光雄先生を講師に迎えてのアイスブレイキングを、亀山市レクリエーション協会設立記念事業の一つとして、6月4日、亀山市総合保健福祉センター「あいあい」の大会議室で開催しました。亀山市では、初めての催しでしたが、定員を超える70人にご参加いただき、和やかにゲームと心のふれあいを楽しみました。



うだかわ みつお 氏  
(財)日本レク協会福祉推進委員。UDAゲーム研究所長。1923年生まれ

深さを改めて体得しました。ゲームは、全員の肩たたきから始まり、3人組・6人組の「カリー」宇多田「ミボラ」ほんかち取りやグループに分かれて「星座でジャンケン」などで、初めは緊張きみだつた人も、しだいにとけ込み、会場は明るい笑顔がいっぱいでした。



### とても楽しかった

アイスブレイキングに参加して……

(高田短大Aさん17歳) いつもレクリエーションは学校ばかりで初めての異年齢の方との関わりでした。

知らない人ばかりでしたが、みんなとても明るく、とてもとけ込みやすかったです。ジャンケンしているだけで楽しかったです。宇田川先生のやり方が楽しかったからだと思います。

(高田短大Bさん17歳) いろんなことが覚えられ、やったことのない遊びができて楽しかった。

(亀山市内 Cさん67歳) 予定が重なり途中で帰るつもりでしたが、今までやったことのないゲームがたくさんあり、最後まで参加してしまいました。(亀山市内 Dさん37歳)

初めての人の中に入っていくと、すこく緊張しました。だが、今回は自分の心も溶かしていき、どんどん仲間がふえて、帰りにはすこく楽しかったです。これからも、ぜひ参加したいです。仲間が増えるのは、うれしいし、自分のネットワークが広がるので社会勉強にもつながります。

(亀山市内 Eさん37歳) アイスブレイキングという言葉は、レクインストラクター講習会で聞いただけでどういふことをするのか想像もつきませんでした。

初めは、現場に立った時の気持ちでしたが、講義が進むにつれ参加者の気持ちになっていました。宇田川先生と、相手をとりにさせる技の持ち主!!と感動しました。初対面の人とゲームを通して、協力しあい仲間になり、短時間でこんなことができるのかと、驚きと喜びの2時間でした。

